

事例7

< 事例概要 >

①70 歳代、腎腫瘍にて腎摘出術後、鉍質コルチコイド反応性低ナトリウム血症のため合成鉍質コルチコイド、塩化カリウム内服中。陰嚢水腫根治術後の入院患者。

②手術翌日の定期採血。

③臨床検査技師は、K 2.5 mEq/Lのため病棟へ連絡した。医師は内服再開と通常の点滴交換の時間（約2時間後）に塩化カリウム投与の指示を入力した。看護師が塩化カリウム投与のため訪室すると患者は心肺停止状態であった。

④手術翌日（パニック値検出より約 3 時間半後）に死亡。

⑤死因は、電解質異常による不整脈。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。